

# 懐かしのジャズを聴く会 3年の歴史に幕下ろす

## 「ジャズフェスタin白井」で有終の美飾る

### 有志が「白井音楽倶楽部」を結成

#### 五月十八日に第一回目のライブ

白井のジャズ愛好家を  
集めてきた「懐かし  
のジャズを聴く会」(亀  
川衛会長)が4月に幕を  
閉じた。平成15年2月か  
ら始まった同会は、懐か  
しいLPレコードを聴き  
ながら、ゲストがその曲  
を解説してきた。

その後、有名ミュージ  
シャン招いたライブもた  
びたび開催。今年3月31  
日には白井市文化会館大  
ホールで「ジャズフェス  
タ・イン・白井」を開催  
し、往年の名プレイヤー  
たちが大挙して白井に駆  
けつけた。全国のジャズ  
ファンの間で一躍「白井」  
の名が知れ渡った。  
「懐ジャの会」は3年

### 白井市芸術振興会が創立三十周年 5月7日に記念大会

白井市芸術振興会(吉  
澤範明会長)は5月7日、  
白井市文化会館大ホール  
で創立30周年記念大会を  
開催する。会員による舞  
踊・詩吟・民謡の他、白  
井太鼓クラブ「笑福連」  
が特別出演する予定だ。

(31回)で閉会となつた  
が、同会で副会長だった  
松川輝雄氏が中心になつ  
て「白井音楽倶楽部」を  
結成した。  
「せっかくできた仲間  
なので、このまま終わら  
せたくない」と、白井市  
文化会館大ホールで5月  
6日、白井文化会館中  
ホールでキルギス大使講  
演会(午後2時~4時)  
を行う。中央アジアにあ  
るキルギス共和国は、果  
てしない砂漠が広がるシ  
ルクロードの国。クタン  
フ・アスカル大使が同国  
の伝統的建築、民族音楽  
と舞踊、生活習慣などを  
日本語で紹介する予定  
だ。

### 民族衣装で 歌と踊りも

また、4人の女性ミュ  
ージシャンが民族衣装で  
歌と踊りを披露する他、  
特産のお茶やハチミツを

にきてほしい。日本文化  
を守るためにも、ぜひ伝  
統芸能の素晴らしさを知  
ってもらいたいもので  
す。(馬場崎氏)

## 幸正純治の提案箱

3月議会が終わって、  
少しホッとしていること  
ろです。平成18年度の当  
初予算、市の将来像であ  
る「市民と築く安心で健  
康なまち しろい」を

て申し述べていますが、  
「定数18議席」の意見を  
持っている議員は24名中  
10名もいるのです。しか  
し、議会内で合意できる  
であろう削減案として20  
議席での提案となつたの  
です。なのに、否決され  
てしまつとは...。返す  
が多数を占めていた議会  
と市単独の行政運営を望  
んだ市民と、意識のね  
じれが生じていた市町村  
合併問題の二の舞になつ  
てしまつてはいないでし  
ょうか。

前進しません。6月議会  
以降も、定数を20議席に  
するために、私は努力を  
惜しみません。全力をあ  
けて奔走します。  
しかし、私のような議  
員定数削減を目指す議  
員がもっとも望むのは、  
市民の皆さんの「関心」  
です。議会改革を求める  
皆さんの声が、大きな力  
になる筈です。

## 暗礁に乗り上げたか 議員定数削減

現するための前期基本計  
画、指定管理者制度の導  
入、市内の事業者を支援  
する企業立地促進条例な  
ど40議案を審議しまし  
た。  
一番の課題だったのが、  
何と云ってても「議員



りません。1年間開催さ  
れた議会改革特別委員会  
を受け、定数を20議席に  
する発議案が出されまし  
た。賛成したのは10  
名だけでした。つまり賛  
成少数で否決されてしま  
つたのです。

返すも残念です。  
議員定数削減案の否決  
後、私のところには「な  
ぜ削減案が否決されたの  
か!」「どうしてなん  
だ!」というお怒りの意  
見が多数寄せられました。  
これでは、合併推進派

と住民投票で決着をつけ  
たいくらいです。「議員  
を削減すると市民の声が  
届かなくなる」といつ  
一部議員の主張は、け  
つして市民に受け入れら  
れないでしょう。  
でも、今回の結果に落  
胆するばかりでは一歩も

おそろく6月議会は正  
念場になるでしょう。ぜ  
ひ議案を傍聴してくださ  
い。そして応援してくだ  
さい。私たちが定数削減を  
目指す議員の大きな励み  
になるのは、間違いあり  
ません。

### 5月6日 博士の愛 した数式

文化会館大ホールで  
NISハッピー倶楽部  
は5月6日、第11回シネ  
マサークルを白井市文化  
会館大ホールで開催す  
る。上映作品は、「博士  
の愛した数式」(出演「  
寺尾聡・深津絵里ほか」)  
50万部を超えるベストセ  
ラーとなった小説を、「雨  
あがる」「阿弥陀堂だよ  
り」の小泉堯史監督が映  
画化したもの。映画通に  
評判の作品だ。  
【入場料】シネマサー  
クル会員は年間鑑賞券で  
入場可、しろい通信を持  
参すると800円、一般  
900円。  
午前(10時20分開演)  
と午後(2時20分開演)  
の2回上映する。

販売する。会場ではキル  
ギスの子供たちの描いた  
絵や風景写真も展示。入  
場無料・予約不要。問い  
合わせは、白井国際交流  
協会事務局 電話047-  
4453345(まで)。

## 博人館



「郷土芸能の伝承」を  
掲げて幅広い活動を続け  
てきた白井市芸術振興会  
は、詩吟・民謡・舞踊の  
21会派、230人を擁す  
る大所帯だ。今年で創立  
30周年を迎え、5月7日  
には記念大会を行う。会  
長の吉澤範明(71)さん  
は、間近に迫つた大会の  
準備に大わらわ。  
会員たちの顔ぶれは多  
種多様である。吉澤さん  
の気がかりは、会員の平  
均年齢が年々高くなるこ  
と。「若者に伝え、受け  
継いでいってくださる人材  
を養成することが、伝統  
芸能を守ることだから  
ね」

### 全国を飛び回る営業マンだった

そこで、吉澤さんは市  
内の小中学校に働きかけ  
て、伝統芸能への関心を  
育てる試みも始めた。せ  
ひとも取り組まねばなら  
ない課題です。今やらな  
ければ、我々の世代で終  
わつてしまいますから」  
と、吉澤さんは静かな闘  
志を燃やす。  
吉澤さんは昭和10年、  
東京・佃島で生まれた。  
敗戦の年、東京大空襲で  
家が全焼する。10歳のと  
きだった。猛火の中を必  
死で逃げた。母の実家を  
頼って飛騨高山に疎開し  
たが、農家ではなかつた  
ため、食べ物に乏しかつ  
た。  
それでも空襲の心配を  
せずに暮らせるのが何よ  
りだったという。「東京  
にいたときはずっと級長  
だったんですけれどね。高  
山では野山を駆けずり回  
って、もう遊び放題」と  
疎開生活を体験した少年  
時代を懐かしそうに振り  
返る。  
戦争が終わ  
り、吉澤さん  
は再び東京  
へ。高校卒業  
後、父親と同  
じ石川島重工  
に入社した。  
30代のとき、  
職場の詩吟サ  
ークルに参加  
する。詩吟の  
魅力にとりつ  
かれた。  
が、仕事は  
ますます忙し  
くなった。営  
業畑でダムや  
水門・橋など  
の補修・営繕  
を請け負った。  
60歳で定年退職した  
後、2年間関連会社に勤  
めた。そしてリタイア  
した。10年のフラン  
クを経て詩吟を再開。今  
では8段の腕前だ。「詩  
吟が健康維持に役立つ  
と、吉澤さんは  
血色の良い顔を  
ほころばす。  
傘下の会派・  
黎明吟詠会の会  
長役を去年退  
いたが、顧問と  
して会員の指導に  
忙しい。芸術振  
興会会長という  
大役を務める一  
方で、地区老人の親睦を  
図る「親和会」(会費年4  
回発行)の編集も担当し  
ている。  
趣味は詩吟だけではない。  
カラオケ・グループに  
参加して得意の喉を披露  
する。読書も大好きで、  
図書館の常連だ。それに  
料理好きでもある。日常  
の惣菜や酒の肴造りなど  
もお手のもの。体調を崩  
しがちなタケ子夫人に代  
わって台所に立つ機会も  
増えた。  
手入れの行き届いた庭  
の一隅に、10畳ほどの離  
れが、部屋中央には囲  
炉裏が切られていて、炭  
火を囲みながらの会合や  
宴会はたまらない。うーん、居心地は最高か  
も。

### 吉澤範明さん (白井市芸術振興会会長)

## 詩吟が健康の源 酒の肴は自分でつくる

を担当して全国をくまな  
く歩き回った。自宅に落  
ち着く暇もないほど、仕  
事に追われた。  
吉澤さんが八十年代市か  
ら白井(清水口)の戸建  
てに移つたのは昭和59年  
のこと。父親が亡くなり、  
1人暮らしとなった母親  
と同居するためだった。  
55歳のときに胃癌と診  
断された。幸い早期発見  
で除去に成功したものの  
、手術で胃は半分にと  
、詩吟は腹に力を込めな  
くてはならないでしょ、  
もう無理かなって思いま  
したね」と、一旦は詩吟  
を諦めた。